

平成30年度 功 勞 賞 受 賞 者

(市町村体育協会推薦)

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴	推薦団体	推 薦 理 由
1	この ともお 今野 友男	平成 3年 4月～23年 3月 中山町体育協会 常任理事 平成23年 4月～29年 3月 中山町体育協会 副会長	中山町 体育協会	平成3年より中山町体育協会常任理事を務められ、23年に副会長に就任し、26年の長きにわたり、スポーツの振興と普及に尽力され、副会長として会長を補佐し活躍された。また、所属する中山町体育協会バレーボール部において、中山町のバレーボール競技の普及・振興に多大な貢献をされた。
2	たいら とみお 平 富男	昭和53年 5月～平成20年 5月 一般財団法人村山市体育協会 理事 平成20年 5月～30年 5月 一般財団法人村山市体育協会 副会長	村山市 体育協会	長年にわたり、村山市体育協会の理事並びに副会長を務められ、組織の運営、発展に大きく貢献された。また、村山市野球連盟の会長を歴任し、村山市スポーツの普及・発展に尽力された。
3	ちょうなん まこと 長南 誠	平成 3年 5月～10年 5月 一般財団法人村山市体育協会 理事 平成10年 5月～20年 5月 一般財団法人村山市体育協会 副会長 平成20年 5月～30年 5月 一般財団法人村山市体育協会 理事	村山市 体育協会	長年にわたり、村山市体育協会の理事並びに副会長を務められ、組織の運営、発展に大きく貢献された。また、村山市水泳連盟の会長を歴任し、村山市スポーツの普及・発展に尽力された。

(競技団体推薦)

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴	推薦団体	推 薦 理 由
4	たかはし けんじ 高橋 健二	平成 9年 4月～13年 3月 山形陸上競技協会 常務理事 平成21年 4月～24年 3月 山形陸上競技協会 副会長 平成24年 4月～現在 山形陸上競技協会 会長	山形 陸上競技 協会	山形陸上競技協会の会長、副会長、常務理事として、長年にわたり組織運営・競技運営に携わり、本県陸上競技界の発展に尽力された。陸上競技を通して、山形県スポーツの発展に貢献した功績は大である。
5	たかはし としまさ 高橋 利昌	平成 5年 4月～17年 3月 山形県水泳連盟 評議員・理事 平成17年 4月～現在 山形県水泳連盟 常任理事・理事 平成18年 4月～23年 3月 山形県水泳連盟 競技委員長	山形県 水泳連盟	平成4年の「べにばな国体」で出発合図員を務め、その功績から山形県水泳連盟の主任出発合図員として後進の育成に尽力し、東北でも注目される現在の山形県の競技会運営の基盤づくりに貢献した功績は大きい。さらに、平成18年からは競技委員長として競技委員の育成に力を注ぎ、選手目線での競技会運営の向上に力を発揮した。また、日本泳法水府流太田派の伝承にも尽力し、寒河江西村山地区において日本泳法を主管し、指導的立場で若手育成を図っている。現在もA級審判員として各種大会に赴き、大会運営の充実と後輩競技委員の育成に力を注いでいる。
6	おおた えいいち 太田 英一	昭和59年 4月～平成22年 3月 酒田地区体操協会 理事 平成22年 4月～26年 3月 酒田地区体操協会 副会長 平成26年 4月～現在 酒田地区体操協会 会長 昭和59年 4月～平成 5年 3月 山形県中学校体育連盟 体操専門委員長 平成22年 4月～26年 3月 飽海地区中学校体育連盟 体操専門部長 平成26年 4月～現在 山形県体操協会 副会長	山形県 体操協会	永年にわたり、中学校教諭(指導者)として多くの選手を指導・育成するとともに、各種大会の運営並びに酒田地区・山形県体操協会の発展に寄与した功績は顕著である。平成4年の「べにばな国体」では、新体操少年男子競技部長として総合優勝に貢献するとともに大会成功に導いた。また、山形県体操協会副会長並びに酒田地区体操協会会長として、体操競技の普及・発展や諸事業の運営に尽力した。
7	ほそや よしはる 細谷 義治	平成 8年 4月～20年 3月 山形県ソフトテニス連盟 理事 平成20年 4月～現在 山形県ソフトテニス連盟 副会長 平成 8年 4月～18年 3月 置賜地区ソフトテニス連盟 理事長 平成18年 4月～現在 置賜地区ソフトテニス連盟 会長	山形県 ソフトテニス 連盟	平成8年4月から23年の長きにわたり、山形県ソフトテニス連盟の理事・副会長として、平成13年から20年までは会員登録委員長を兼務され、ソフトテニス競技の普及振興・強化に携り多大な貢献をしている。また、現在も選手として活動され、東北大会でも最近入賞するなど、置賜地域のスポーツ発展に向け先頭に立って活躍・牽引している。
8	たかなし ともあき 高梨 智明	平成 3年 4月～18年 3月 山形県卓球協会 理事 平成18年 4月～28年 3月 山形県卓球協会 副理事長 平成28年 4月～30年 3月 山形県卓球協会 理事長 平成30年 4月～現在 山形県卓球協会 副会長	山形県 卓球協会	永年にわたり、山形県卓球協会執行部として卓球界の普及、発展、競技力向上を目指し活動した。卓球技術の指導には特筆するものがあり、全日本卓球選手権大会(ホープスの部)男子シングルスで三部航平選手を優勝に導いた。後に三部選手は全国中学校卓球大会、全国高等学校卓球選手権大会の男子シングルスで優勝、全日本卓球選手権大会一般男子ダブルスで優勝し二連覇を果たし、日本代表として国際大会でも大いに活躍している。また、平成4年の「べにばな国体」においては、準備から大会運営まで万般にわたり手腕を遺憾なく発揮し、卓球競技の総合優勝に大きく貢献した。その後も、平成11年全国スポレク、13年全国社会人、20年全国教職員、21年全国ラージ、25年全国ホープス選抜、29年全国中学選抜大会開催の中心的役割を担い、大会を成功裡に導いた。

番号	氏名	スポーツ関係歴		推薦団体	推薦理由
9	いたがき にじろう 板垣 仁治郎	平成7年4月～現在 平成7年4月～現在 平成19年4月～現在 平成23年4月～現在	山形県野球連盟 理事 山形地区野球連盟 審判部長 山形地区野球連盟 副会長 上市市野球連盟 会長	山形県 野球連盟	多年にわたり、野球審判技術の向上に尽力されるとともに、審判指導者としての資質を遺憾なく発揮し、今日の審判員組織の礎を築いた。都市対抗野球大会において、県内で最初に全国審判員として派遣されるとともに、山形県野球連盟理事として全国・東北大会や東日本大会等の大きな大会運営に携わり、本県野球界の発展に多大な貢献を成した。
10	くつざわ むつお 沓澤 六雄	平成2年4月～6年3月 平成6年4月～24年3月 平成14年4月～24年3月 平成24年4月～現在	最北地区ソフトボール協会 最北審判副委員長 最北地区ソフトボール協会 最北審判委員長 山形県ソフトボール協会 県審判副委員長 山形県ソフトボール協会 県審判委員長	山形県 ソフトボール 協会	長年にわたり、山形県ソフトボール協会の理事・審判委員長として、協会運営やソフトボール競技の普及・発展に貢献するとともに、審判員としても、長年にわたり本県大会始め東北大会、全国大会、リーグ等の審判員として活躍され、審判員の育成指導と審判技術の向上に尽力された功績は大である。今後も、本協会審判員の増強並びに資質の向上が期待されている。
11	たかはし こうたろう 高橋 耕太郎	平成5年4月～9年3月 平成9年4月～15年3月 平成15年4月～17年3月 平成17年4月～21年3月 平成21年4月～現在	山形県バドミントン協会 事務局次長 山形県バドミントン協会 事務局長 山形県バドミントン協会 理事 山形県バドミントン協会 強化副委員長 山形県バドミントン協会 広報委員長	山形県 バドミントン 協会	平成5年より15年まで、山形県バドミントン協会の事務局次長、事務局長として協会運営に携わり、理事長を補佐しながら東北総体等の大きな事業をこなしてきた。また、平成17年から21年までは、強化副委員長として強化費の管理に努め、協会の要となる競技強化のため尽力された。平成21年からは、広報委員長として、広報誌の掲載記事のため、自ら県内各地取材して回った。この広報誌により、協会の活動や事業、大会記録等が明確になり、後世に残る大切な財産となっている。当協会への功績は誠に大きい。
12	あそ たかお 阿蘇 孝生	平成5年4月～11年3月 平成11年4月～15年3月 平成15年4月～21年3月 平成21年4月～25年3月 平成21年4月～25年3月	田川地区剣道連盟 事務局長 田川地区剣道連盟 理事長 田川地区剣道連盟 副会長 田川地区剣道連盟 会長 山形県剣道連盟 副会長	山形県 剣道連盟	永年にわたり、田川地区剣道連盟の会長、副会長、理事長、事務局長等の要職を務め、山形県及び地域において、剣道競技の普及・振興に尽力した功績は大である。現在も、山形県剣道連盟並びに田川地区剣道連盟の顧問として、後進の剣道指導と自己研鑽を実践しており、その功績は他の模範である。
13	あだち ごう 安達 剛	昭和57年1月～60年12月 昭和61年1月～平成19年12月 平成20年1月～23年12月 平成24年1月～28年12月 平成29年1月～現在	山形県空手道連盟 理事 山形県空手道連盟 常任理事兼強化部長 山形県空手道連盟 副理事長兼競技部長 山形県空手道連盟 理事長兼事業本部長 山形県空手道連盟 副会長(強化担当)	山形県 空手道連盟	昭和54年宮崎国体重量級準優勝、56年滋賀国体重量級第5位、他に東北総体優勝など活躍。57年理事就任後も、山形県代表選手として活躍された。61年、常任理事兼強化部長に就任。平成4年第47回「べにばな国体」では、強化委員長並びに男子監督として、天皇杯総合優勝獲得に貢献した。平成24年より副会長(強化担当)として、県連盟の運営、本県空手道の競技力向上と普及・振興に尽力するとともに、東北地区協議会幹事長としても、東北六県の統括にも努め、幅広い貢献は誠に大である。
14	あべ けいじ 阿部 啓治	昭和61年4月～平成11年3月 平成11年4月～現在 昭和60年4月～平成元年3月 平成元年4月～9年3月 平成9年4月～25年3月 平成9年4月～23年3月・25年度 平成13年4月～現在	山形県ボウリング連盟 理事(総務部長) 山形県ボウリング連盟 副理事長・競技力向上委員等 酒田ボウリング協会 常任理事 酒田ボウリング協会 理事長 酒田ボウリング協会 会長 酒田市体育協会 理事・評議員 東北地区ボウリング連合 理事(指導委員担当)	山形県 ボウリング 連盟	長年にわたり、市、県、東北の役員として、組織整備、充実・発展向上に寄与し、第三種ボウリング審判員、スポーツ指導員の資格を持ち、若年から壮年まで積極的に指導・育成等に貢献された功績は大である。また、幅広い見識のもと、将来を見据えた地域の実態に応じたスポーツ環境の整備を進めるなど、本県の生涯スポーツ振興に尽力された。自らも平成16年度日本スポーツマスターズ2004において入賞し、酒田市体育協会から優秀賞を授与。24年度、酒田市体育協会功労賞を授与。20年度に全日本新人ボウリング選手権において本県選手が優勝し、優秀監督賞を授与された。
15	やまき ただみ 八巻 忠美	平成8年4月～現在 平成12年4月～現在 平成12年4月～現在 平成28年4月～29年3月	山形市ゲートボール協会 総務委員長 山形市ゲートボール協会 副会長 東南村山地区ゲートボール連絡協議会 事務局長 山形県ゲートボール協会 監査役	山形県 ゲートボール 協会	日本ゲートボール連合公認1級審判として、県、東南村山地区の審判講習会を主催し、ゲートボール競技審判技術の向上と競技力向上に尽力された功績は大である。ねんりんピックを始め各種全国大会に山形県代表として出場しており、現在、競技者として競技の普及・拡大に努めている。

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
16	ふるさわ しげたか (故)古澤 茂堂	平成 4年 4月～30年11月 山形県ダンス連盟 会長	山形県 ダンス連盟	山形県ダンス連盟発足の平成4年より、永年にわたり会長の要職を務められた。氏は、弁護士というダンスには関わりの薄い職業の中で、立場の異なるプロとアマチュアの4団体を取り纏めてこられ、本県ダンス界の発展と山形県民の生涯スポーツとして健康増進に尽力された功績は大である。
17	かまた きくお (故)鎌田 喜久男	平成 4年 4月～30年11月 山形県ダンス連盟 副会長	山形県 ダンス連盟	山形県ダンス連盟発足の平成4年より、永年にわたり副会長として在職し、山形県ダンス連盟発足の礎を築き、平成10年の山形県体育協会加盟に大きく尽力された。平成19年には、ダンスの普及と市民の健康増進に貢献した功績を讃え、山形市長より感謝状が授与された。当連盟の発展と後進の育成に努められた功績は大である。

平成30年度 功労賞(ライオンズスポーツ賞)受賞者

(競技団体推薦)

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
1	つばき ひろし 椿 央	第42回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会 1500m・マスタート 優勝 小坂 凜(山形中央高) 第68回全国高等学校スケート競技選手権大会 スピード競技女子学校対抗・チームパシュート 優勝 (山形中央高) 女子1500m・3000m 優勝 小坂 凜(山形中央高) 女子1000m 優勝 高橋侑花(山形中央高) 第74回国民体育大会冬季大会スケート競技会 少年男子500m 優勝 森重 航(山形中央高) 少年男子1500m 優勝 櫻井俊太郎(山形中央高) 少年女子1500m 優勝 小坂 凜(山形中央高) 少年女子2000mリレー 優勝 古川・秋田・福田・高橋(山形中央高)	山形県 スケート連盟	山形県スケート連盟強化部長並びに県立山形中央高校スケート部監督として、長年にわたり選手強化に尽力されている。本県スピードスケート界の競技力向上への道を大きく開拓し続けている功績は顕著である。今年度は、小坂凜選手がジュニアワールドカップ大会に加えシニアのワールドカップ大会に出場し入賞等の躍進を見せた。インターハイではチームパシュート・学校対抗女子総合ともに3連覇に導いた。さらに、国民体育大会においては少年が全種目入賞を勝ち取り、森重航選手の500m2連覇達成をはじめ3種目で優勝。少年女子2000mリレーで初優勝を果たした。
2	すがわら みのる 菅原 稔	第73回国民体育大会 陸上競技 女子円盤投 優勝 齋藤真希 平成30年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 女子円盤投 優勝 齋藤真希 第102回日本陸上競技選手権大会 女子円盤投 優勝 齋藤真希 第34回U20日本陸上競技選手権大会 女子円盤投 優勝 齋藤真希	山形 陸上競技 協会	高校教員時代から現在まで、陸上競技の指導にあたり、特に齋藤真希選手を昨年度の地元インターハイチャンピオンに引き続き、今年度は日本選手権をはじめ4大会で見事優勝に導いた功績は大である。
3	さとう たかお 佐藤 孝夫	平成30年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 男子三段跳 優勝 松田 基 第34回U20日本陸上競技選手権大会 女子100m 優勝 青野朱李 女子200m 優勝 青野朱李	山形 陸上競技 協会	長年にわたり、高校陸上競技部顧問として生徒の指導にあたり、特に昨年度の地元インターハイでは、青野朱李選手をはじめ複数の優勝者を輩出し、今年度は、三重インターハイで同校の松田基選手が男子三段跳で優勝、U20日本選手権では青野朱李選手が100m・200mで優勝と好成績を挙げた。さらに、本県陸上競技協会の強化委員長として、本県の競技力向上に多大なる功績を挙げた。
4	あしの たかし 芦野 貴士	第73回国民体育大会 カヌー競技 少年男子カヤックペア 200m・500m 優勝 設楽勝太・小野隼人(谷地高) 少年男子カナディアンペア 200m・500m 優勝 荒木岳樹・伊藤真大(谷地高) 少年女子カヤックフォア 200m・500m 優勝 吉田・平泉・増川・佐藤(選抜) 平成30年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会 男子カヤックペア 500m 優勝 設楽勝太・小野隼人(谷地高) 男子カナディアンペア 200m 優勝 荒木岳樹・伊藤真大(谷地高) 女子カヤックペア 200m・500m 優勝 吉田奈未・平泉真衣(谷地高) 男子カヤックフォア 200m・500m 優勝 伊藤・安達・設楽・小野(谷地高) 男子カナディアンフォア 200m 優勝 荒木・伊藤・齋藤・布施(谷地高) 女子カヤックフォア 200m・500m 優勝 吉田・奥山・平泉・長岡(谷地高)	山形県 カヌー協会	県立谷地高等学校カヌー部顧問として、全国高等学校総合体育大会、国民体育大会において数多くの優勝・入賞を導いた。その指導は選手一人ひとりに合ったプレースタイルを確立させ、チーム全体の底上げに励んでいる。今年度優勝した選手は1、2年生が多く、来年度も多くの優勝が期待できる。本県の体育・スポーツ活動に対する貢献は誠に大である。

平成30年度 特別賞受賞者

氏名	受賞事項	推薦理由
こせき やすひろ 小関 也朱篤	第18回アジア大会 50m平泳ぎ 優勝 27秒07 100m平泳ぎ 優勝 58秒86(大会新記録) 200m平泳ぎ 優勝 2分07秒81 第14回世界水泳選手権大会(短水路) 100m平泳ぎ 第3位 56秒13(日本新記録) 200m平泳ぎ 第4位 2分02秒18	第18回アジア大会において、50m・100m・200m平泳ぎの3冠を果たし、100mでは大会新記録を樹立。また、第14回世界水泳選手権大会において、100m平泳ぎで短水路日本新記録を樹立した。本県スポーツ界の振興・発展に貢献した功績は誠に大きく、県民に多くの感動を与えてくれた。